

資 料

1 沿 革

- 明治43年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設
試験部、庶務部の2部制で発足
- 大正 9年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4年 2月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8年 昭和8年3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の4部制に改編
- 25年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 28年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の3部制
に改編
- 31年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 36年 製造部を利用部に改称
- 42年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の5部制に改組。新たに専
門技術員が駐在。翌49年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室
に改め5部1室制に組織改編
- 53年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管。
- 54年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設。
- 56年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉
伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と
改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の4部制に改編
- 57年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培
漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6年 3月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターを統合して岩
手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画
指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の7
部1室制に改組。久慈分場は廃止
- 9年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3名）が兼務
- 11年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管
- 13年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止
- 18年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養
殖部及び漁場保全部の6部制に改編

- 19年 マナマコ種苗生産技術開発のため(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣
 21年 マナマコ種苗生産技術確立により(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了
 22年 水産試験場開設から100周年を迎える
 23年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災
 26年 被災した施設の復旧工事終了

2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 井ノ口 伸 幸	
副 所 長 煙 山 彰 副所長兼漁場保全部長 山 口 仁 首席水産業普及指導員 石 川 豊	H25. 4. 1 昇任(漁業資源部長)
総 務 部 部 長 平 野 晃 主 任 主 査 阿 部 君 男 主 任 新 沼 照 美	H25. 4. 1 転入(前任・地域振興室) H25. 4. 1 転入(前任・大船渡保健福祉環境センター)
企 画 指 導 部 部 長 中 井 一 広 主 査 専 門 研 究 員 遠 藤 裕 樹 主 任 専 門 研 究 員 田 中 一 志	H25. 4. 1 転入(前任・宮古水産振興センター)
漁 業 資 源 部 部 長 清 水 道 彦 上 席 専 門 研 究 員 後 藤 友 明 主 査 専 門 研 究 員 八 幡 新 主 査 専 門 研 究 員 小 川 元 主 査 専 門 研 究 員 山 野 目 健 主 任 専 門 研 究 員 清 水 勇 一 技 師 永 井 愛 梨	H25. 4. 1 転入(前任・宮古水産振興センター) H25. 4. 1 昇任(主査専門研究員) (※宮古水産振興センター勤務)
利 用 加 工 部 部 長 菊 池 達 也 主 査 専 門 研 究 員 上 田 智 広 主 査 専 門 研 究 員 藤 嶋 敦 志 主 任 専 門 研 究 員 及 川 和 志	H25. 4. 1 (大船渡水産振興センター勤務)
増 養 殖 部 部 長 久 慈 康 支 上 席 専 門 研 究 員 田 老 孝 則 上 席 専 門 研 究 員 野 呂 忠 勝 主 査 専 門 研 究 員 堀 越 健 主 査 専 門 研 究 員 山 口 正 希 専 門 研 究 員 大 村 敏 昭 技 師 貴 志 太 樹	(※宮古水産振興センター勤務) H25. 4. 1 昇任(主査専門研究員) H25. 4. 1 新採用

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
漁 場 保 全 部 主 査 専 門 研 究 員 加 賀 克 昌 主 査 専 門 研 究 員 加 賀 新 之 助 専 門 研 究 員 内 記 公 明 技 師 渡 邊 志 穂	H25. 4. 1 (水産振興課勤務)
岩 手 丸 船 機 長 港 繁 樹 主 査 関 機 長 中 村 光 春 主 任 通 信 士 士 熊 谷 勇 一 主 任 航 海 士 士 藤 沢 孝 弘 航 海 機 士 士 藤 井 正 樹 航 海 機 士 士 中 村 拓 宏 操 板 長 武 田 義 也 甲 板 長 三 浦 義 久 甲 板 員 山 崎 久 達	H25. 4. 1 新採用
北 上 丸 上 席 機 関 士 三 浦 雅 幸 船 長 心 得 士 金 野 善 広 主 任 通 信 士 黒 沢 清 隆 航 海 機 士 士 福 小 山 正 紀 機 関 士 士 小 山 良	H25. 4. 1 昇任 (主任航海士) H25. 4. 1 昇任 (通信士)

岩手県水産技術センター

Iwate Fisheries Technology Center

〒026-0001 釜石市大字平田第3地割75番地3

3-75-3 Heita, Kamaishi-City, Iwate 026-0001 JAPAN

TEL 総務部 0193-26-7911 利用加工部 0193-26-7916

企画指導部 0193-26-7914 増養殖部 0193-26-7918

専門技術員 0193-26-7935

漁業資源部 0193-26-7915 漁場保全部 0193-26-7919

FAX 総務部 0193-26-7910 研究各部 0193-26-7920

ホームページアドレス <http://www2.pref.iwate.jp/~hp5507/>

代表メールアドレス CE0012@pref.iwate.jp